

## ◎新年のごあいさつ

### 《地域の話し合い推進 農業農村人材の確保 そして、世代交代へ》

新年あけましておめでとうございます。

ここ数年、農村で毎年のように起こる災害の復旧に地元の建設業界は人材不足にあえいでいます。これで大雪でも降れば疲弊することは明らかです。地域の守り手としての人材確保には時間もコストもかかります。

まして中山間地域の農村は、高齢者が支えており、「自分たちが若い頃は2倍、3倍の住人がいて、細かいところまで管理作業ができたが、今は獣害も加わり、八方塞がりだ」と人材不足に対する悲観論があふれています。

厳しい話が多い中、明るい話題が出てきました。

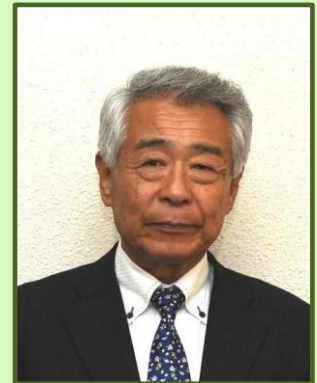
与謝野町の有力な若い稲作農家2戸が合体、新たな法人を設立し、現在40ha程度の規模から10年後には100haを目指すという情報が入ってきました。父親の代から消費者との交流や販売に力を入れており、多角経営を発展させていくとのこと。

米の規模拡大は、村の行く末も背負い続ける大変な経営であり、京都府ではじめて100haを超える稲作経営を目指すことを覚悟した若い世代を我々の世代がしっかり支えていく必要があります。

多くの農村では、リーダーも担い手も高齢化し、地域の話し合いで将来の姿を語るのが困難な状況ですが、村を支える高齢者を大事にしながら、一方でリーダーの世代交代と、農業農村人材の確保を進めることが、農業委員会系統組織のこれからの大きな使命だと考えております。

農業会議では、農業農村の課題解決に向け、府内700人の委員の皆さまと共に、現地での取組に邁進してまいりたいと考えておりますので、本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

結びに、読者の皆さまにとって、今年が良い年になりますことを祈念し、新年のごあいさついたします。



京都府農業会議会長  
栗山 正隆

## ☆募集しています☆

### ○農地を貸したい方へ

離農や、規模縮小を考えておられる方、農地が荒れる前に農地中間管理機構、市町村農政担当課にご連絡ください。

### ○農地を借りたい方へ

農業を始めたい方、規模拡大を考えておられる方、農地中間管理機構では農用地等の借受希望者の募集を今年行っています。詳細は機構までご連絡ください。

## ◎令和元年度の農地中間管理機構の広報について

農地中間管理事業活用の事例を、京都府北部地域で配布されている情報誌「TOWN TOWN」で紹介しました。

事例紹介にあたっては、京丹後市で農地中間管理事業を活用して農地を借り受けている竹田克寛さん、綾部市で農地中間管理事業を活用し地域の担い手が耕作できない条件不利地を借り受けている志賀郷北部農産株式会社さんにご協力いただき、事業活用に至った経緯や感想などをお聞きしました。

お忙しい中、事業活用の感想など丁寧に説明いただくなど、取材に快くご協力いただきました。ありがとうございました。

(2) TOWN TOWN 2019.12.21 sat https://www.ryoutan.co.jp/town

公的機関が仲介、安心の「農地中間管理事業」

**京都府農業会議**

**農地を守るために貸す  
借りて生かす** という選択

大切に守ってきた農地けど、年齢を重ね作業が厳しくなってきた。だからと放置すれば、たちまち荒れてしまうし、周囲のみなさんにも迷惑をかけてしまう。なんとかしたいのだけれどと悩む農家が多い。一方で、意欲的な若い人や組織が新たな農地を求めている。そんな両者を仲介する「農地中間管理事業」が関心を集めています。

京都府から指定された公的機関「京都府農業会議（農地中間管理機構）」が、貸し手農家から農地を借り受け、規模拡大を進める担い手農家等に貸し出す制度です。農業会議が手続き等を行うので、安心して農地を貸し出し、借り受けることができます。

府内全域の豊富な情報を持っているので、貸す側の様々なケースに対応して、「農業を始めたい」「規模を拡大したい」といった意欲的な人を紹介してくれます。

**「借りたい人」のための現地見学会も**

家族や地域の人が集まる年末年始、冬の間、みんなで話し合い、農業会議に相談してみませんか。



借り受け面積を倍にして経営規模拡大を考えています

**事例 1**

**契約、支払いはすべて機構で**

京丹後市 竹田克寛さん (34)

大阪出身で、茨城の大学、法人で農業を学びました。丹後(実践型学舎)で大規模畑作に魅了され、農地中間管理事業を活用して、約3haのまとまった農地を借り受けることができました。十数人の地主の方がおられますが、契約や賃借料の支払いなど、手続きはすべて機構に行っていただき、手間もからず、安心して任せられ、大変助かっています。

集落全体で地域農業を守る仕組みができたのは、農地中間管理事業のおかげです。



**事例 2**

**条件不利地を集約**

綾部市 志賀郷北部農産株式会社

農地中間管理事業を活用して飛躍的に農地の集積が進み、効率的な事業展開につながりました。いま約40haの農地を預かっています。条件の良い、耕しやすい農地はできるだけ地域の農家に残し、当社は条件の良い農地を借り受けています。

地域のみなさんには、農地を預ければではなく、種まき等の農繁期をはじめ、水管理や草刈り等日常の作業もできるだけ協力してもらい、縁が切れないようにしています。

電話で相談できます

**☎075-417-6868**

一般社団法人 京都府農業会議  
京都市上京区出水通油小路東入ル丁子風呂町104-2  
京都府庁西別館2階

### ◆イベントガイド◆

開催日	催事名	会場	お問い合わせ
令和2年 2月12日(水)	農地農政相談	福知山市内複数会場	福知山市農業委員会事務局
令和2年 2月20日(木)	山城地域就農相談	京都府田辺総合庁舎	山城北農業改良普及センター (TEL: 0774-62-8686) 山城南農業改良普及センター (TEL: 0774-72-0237)
	<p>◆事前に予約が必要です（相談日の7日前までにご予約下さい）</p> <p>◆ある程度の就農準備ができていますの方を相談対象として想定しています。</p> <p>◆就農準備がどの程度できているかにより、他の相談機関を紹介する場合がありますので御了承ください。</p>		

※京都府農地中間管理機構では、「FarmBankNews」を（一社）京都府農業会議のHPに掲載しています。

（一社）京都府農業会議（農地中間管理機構）のホームページからメールアドレスの登録ができます。どなたでもご登録いただけますので、農地中間管理事業に興味のある方、また活用をお考えの方はお気軽にご登録ください。

ホームページ URL はこちら <https://www.agr-k.or.jp/~kyoto-jf/farmbank/>